

# 「適正な基肥窒素量の施用」が、きれいで、 美味しい「富富富」を安定して穫る第一歩！

「過剰な基肥施用」と「中干し開始の遅れ」にくれぐれも注意！  
～「富富富」と「コシヒカリ」  
との大きな違いを踏まえて～

- 「富富富」は稲体が小さい ⇒ 必要とする肥料が少ない！
- 「富富富」は葉色が濃い目 ⇒ 茎数が増えやすい！



でも、、、 「丈が短い、倒伏しない」、「もっともっと多く収穫したい」と考えて、ついつい、肥料を多くすると。

- ① 茎の数が増えすぎて過剰籾数となって、屑米が多発！
- ② 乳白粒・心白粒・青未熟粒が多発して、品質が低下！
- ③ お米の蛋白含有率が高くなって、食味が低下！



そうならないため

「適正な基肥窒素量の施用（コシヒカリの慣行量の2割減を基本）」  
「田植後4週間までの中干しの確実な開始」

高温に強い  
↓  
基白粒、背白粒の発生少

基白粒 背白粒

過剰籾数  
↓  
乳白粒、心白粒、青未熟粒が多発

乳白粒 心白粒 青未熟粒

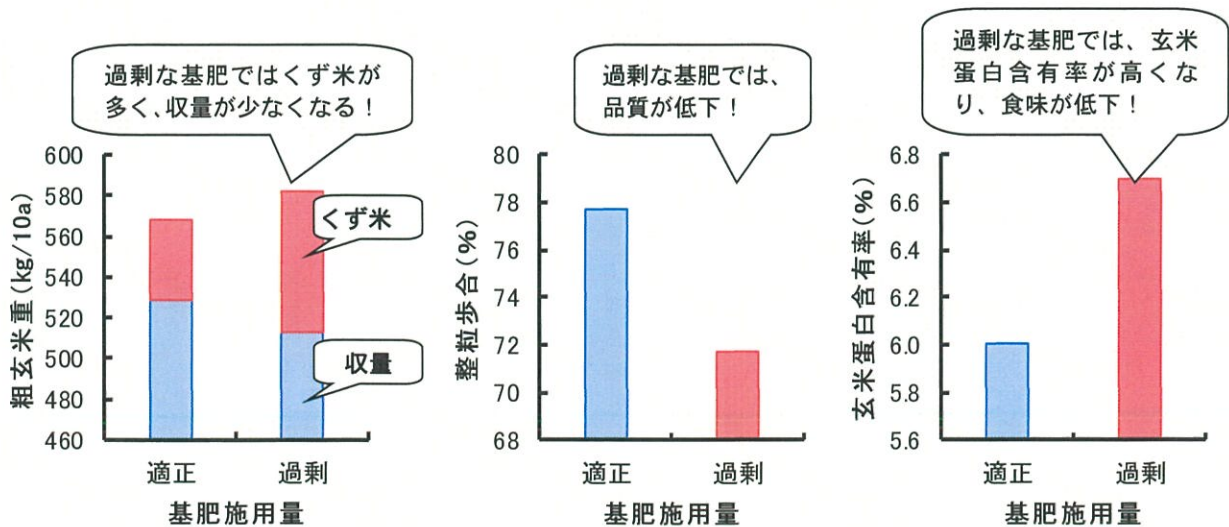


図 基肥施用量がくず米重、整粒歩合および玄米蛋白含有率に及ぼす影響 (R元)

注) 基肥施用量 適正：コシヒカリ地域慣行施肥量の2割減、過剰：コシヒカリ地域慣行施肥量